

## 夏秋トマト栽培講習会



尾上トマト部会は8月30日、尾上青果センターでトマト販売説明会と栽培講習会を開きました。生産者14人が参加し、10月のトマト収穫に向けて、出荷基準を再確認しました。

今後の栽培管理などについて、中南地域県民局地域農林水産部農業普及振興室の職員が、「9月以降も裂果の発生が予想される。今後も定期的なかん水、保温、エスレス処理などの対策をし、裂果発生軽減に努めてほしい」と説明しました。



栽培管理を確認する生産者

## 盆の大売り出し賑わう



黒石地区のフレッシュ朝市の会は、8月11日から13日にかけて盆の大売り出しを行い、早朝から多くの来場者で賑わいました。

大売り出しでは、盆用の花やスイカ、メロン、ナスなど旬の農作物がずらりと並び、来場者は目当ての商品を購入していました。

来場者は「すぐに売り切れてしまうので、朝早い時間から並んでいる。品質の良い花が手頃な価格で買えてうれしい」と笑顔で話しました。



盆用の花を選ぶ来場者

## 令和5年産ねぎ出荷説明会



尾上青果センターは8月23日、令和5年産ねぎの出荷説明会を開き、生産者約40人が参加しました。

同センターの齋藤寿徳統括は露地ネギとハウス軟白ネギの品質基準、出荷規格などを説明。説明会終了後には、荷造作業の流れを作業員が実演し、紐の結び方や袋の詰め方を確認しました。

収穫は10月にピークを迎え、12月中旬まで収穫されます。JAでは県外の市場に約15,000ケース(1ケース5\* $\square$ )の出荷を計画します。



荷造作業の流れを確認する生産者（奥）

## 若手職員体験実習



今年4月に入組した新採用職員3人は、職員教育の一環として体験実習を行いました。農業に対する理解を深め、組合員や直売所を利用するお客様とのふれあいを目的としており、道の駅ひろさきサンフェスタいしかわの対面販売や農作物の袋詰めなどを体験しました。職員からは「新鮮な気持ちで取り組むことができた」といった意見がありました。

JAでは今後も研修会などを開催し、職員の育成に取り組めます。



対面販売をする職員